

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取り組みの内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。 生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> Semester制導入に向けた諸課題の整備と調整を行う。 生徒の主体的な学習を促す授業の研究を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校選択科目を見直し、教育課程の精選を図る。 「清南型アクティブラーニング」を確立するための授業研究を行い、その結果を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の特徴である、生徒の自己実現や進路選択ができる教育課程になっているか。 各教科で、「清南型アクティブラーニング」とはどのような授業なのか研究できたか。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。 学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> SC,SSWの積極的活用と連携を図る。 マナーアップを推進する。 文化祭、スポーツ大会等を生徒主体に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> チューター制度や、相談ポストの存在を周知し、担任も含めた一次的な支援の中から必要なものをSC、SSWにつなげていく。 ポスター等を使い、啓発活動を継続していく。状況に応じた柔軟な巡回指導を行う。 委員会生徒と教員の相談協議の機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況と教員へのフィードバックおよび、必要に応じてケースが設定できたか。 生徒指導案件の内容状況。 自己の役割について振り返りを行い高評価が得られたか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアサポート体制を拡充する。 「生きる力」をはぐくむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の進路計画および、進路相談やチューターの活用を図る。外部の教育力および総合的な学習の時間を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の進路計画の作成状況。進路相談件数やチューターの活用状況。 進路達成状況。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 地域に理解され、信愛される活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災活動や地域の学校(小学校や幼稚園など)と積極的に連携に取り組む。 日々の教育活動のより丁寧な情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事としてだけではなく、学年単位等、機会をとらえて定期的に実施する。 ねらいや意図に加え、生徒の様子を丁寧に説明する。 生徒の多様なニーズ対応に向け地域連携を広める。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動件数を増やし、内容充実できたか。 学校説明会等において、本校の情報を得る媒体として、本校ホームページを挙げる人の割合が前年度よりアップしたか。 生徒の地域との連携はできたか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。 フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 三課程防災訓練を定着させる。また学校安全・安心活動計画を作成する。 ポータルサイト活用を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施目標を定め、三課程で実施要項を作成する。 学校説明会等の実施状況をまとめ、ポータルサイトでの周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況。 三課程の活用状況が改善したか。